

# 令和5年5月～6月実施研修の御案内

令和5年3月9日 (公財)東北自治研修所

## 1 第4回 改正民法研修(相続関係)〈参集型・オンライン型〉

民法の相続関係が40年ぶりに改正され、自治体の業務でも、見直しが必要な部分があります。

この研修では、法改正の概要、自治体業務への影響及び適切な対応・留意点等について、現役弁護士が、法律初心者にも理解しやすいよう、わかりやすい言葉で丁寧に解説します。

### 〔理解・習得のポイント〕

- 改正民法の概要
- 改正民法の業務への影響、適切な対応、留意点
- 法律的な考え方の基本

実施日

令和5年  
5月11日(木)～12日(金)

対象

受講を希望する職員

人数

- 参集型 30人程度
- オンライン型 30人程度

申込

別紙受講申込書を送信ください。  
申込期限：4月21日(金)

準備物

ポケット六法、自治六法等の六法を準備してください。種類は問いません。

### 講師

ひろむ法律事務所 弁護士

けむ やま まさ ひろ

煙山 正大氏



当所、中堅職員研修で「民法」を指導し、わかりやすさは、受講者から絶賛されています。

仙台弁護士会では法教育委員会委員、子どもの権利委員会委員等を担当し、平成31年度より仙台市スクールアドバイザーを務めています。

### ●●講師からメッセージ●●

改正民法の中には従前のルールと大きく異なる部分があるので、「今までどおり」に処理してしまうと思わぬトラブルが生じる可能性があります。

本講義では、改正の内容やその背景にある考え方、実務上注意すべき点について、具体的事例(設問)をもとに解説します。

### 昨年度受講者の声(債権関係)

〈参集型〉

- ・事例を踏まえて改正前・改正後の比較をするだけでなく、聞きなれない用語を説明する際、ロジックを組み立て根拠とした例を紹介する等、大変わかりやすい内容だった。
- ・一つ一つの条文の適用や運用について説明があり、大変わかりやすかった。事例紹介だけでなく、実施に使う場合の注意点もあり、より理解が深まった。

〈オンライン型〉

- ・知識のない状態からも理解できるような平たい言葉での説明で、また、受講者を置き去りにすることなく、非常にわかりやすかった。
- ・音量、話し方がはっきりしていて聞きやすかった。

月日	時刻	内 容	
5月 11日 (木)	9:30	開講式・オリエンテーション	講義
	10:00	1 遺産分割について ・預貯金の取扱い ・一部分割	
	12:00	・逸失した遺産の取扱い ・持戻し免除	
		昼休み	
	13:00	2 配偶者(短期)居住権	
	17:00	3 遺言制度 ・自筆証書遺言 ・遺贈 ・遺言執行者	
12日 (金)		宿泊オリエンテーション	
	9:00 12:00	4 遺留分制度	
		昼休み	
	13:00	5 相続の効力 ・対抗要件 ・債務承継	
	16:00	6 特別の寄与制度	
		閉講式	

## 2 第61回 風水害を想定した災害対応研修〈参集型〉

近年、東北地方でも風水害の被害を受けることが増加しています。自治体には、被害を最小限に止める防災・減災に務め、災害発生時の対応、事後の復旧・復興を想定しておくことが求められています。

この研修は、危機管理部門の職員に限らず災害に対応する全ての職員が、いざという時に適切な対応が取れるよう、専門家の講義と被災を経験した自治体職員による経験談を共有することで、東北地方の広域的視野を含め、風水害に対する対応能力の向上を図ります。

### 〔理解・習得のポイント〕

- 風水害に関する自治体対応の基本
- 被災自治体職員の経験談を基にした所属自治体の実践的な対応の想定

実施日

令和5年  
5月22日(月)～24日(水)

対象

- 災害対応に関わる職員及び興味のある職員
- 受講を希望する職員

人数

30人程度

申込

別紙受講申込書を送信ください。  
申込期限：4月21日(金)

### 講師

#### ■ 東北大学災害科学国際研究所

副研究所長・教授 <sup>まる や ひろ あき</sup> 丸谷 浩明 氏

事業継続マネジメント(BCM)、企業防災、防災計画、防災法制、防災ボランティア

准教授 <sup>さ とう しょう すけ</sup> 佐藤 翔輔 氏

災害伝承学、災害情報学、災害文化、情報処理過程、避難行動

准教授 <sup>もり ぐち しゅう じ</sup> 森口 周二 氏

斜面災害、地盤災害、数値解析、災害調査

助教 <sup>はし もと まさ かず</sup> 橋本 雅和 氏

防災水工学、洪水氾濫解析

#### ■ 環境省 東北地方環境事務所

資源循環課 職員

月日	時刻	内 容	
5月 22日 (月)	10:00	開講式・オリエンテーション	
	10:30-12:00	1 研修プロローグ	佐藤准教授
		昼休み	
	13:00-15:20	2 風水害等に対応する基本的防災制度及び平常時の備え	丸谷教授
	15:30-17:00	3 近年の風水害とその気象条件	橋本助教
		宿泊オリエンテーション	
23日 (火)	9:00-12:00	4 災害時の地方自治体と国、他自治体、民間との連携	丸谷教授
		昼休み	
	13:00-16:30	5 ワークショップ：被災自治体(県)の経験を聞く・学ぶ 令和元年台風19号時の体験談(宮城県災害対策本部、防災砂防課)	佐藤准教授
24日 (水)	9:00-10:30	6 土砂災害の予測と評価	森口准教授
	10:40-12:00	7 災害廃棄物について	東北地方環境事務所
		昼休み	
	13:00-16:30	8 ワークショップ：被災自治体(市・町)の経験を聞く・学ぶ 令和元年台風19号時の体験談(大郷町、大崎市)	佐藤准教授
		閉講式	

講義・演習

## ◆ ワークショップ ◆

### 「令和元年台風19号」での自治体職員の体験談から学ぶ

台風19号(令和元年10月12日～13日)発生から約1か月間の自治体職員の体験を時系列に聞き、災害を疑似体験することで、自分自身が取るべき行動を再確認し、危機に備えます。

#### ■ ワークショップの流れ

- 1 スピーカー1人目の体験談（ワークシート記入）
- 2 スピーカー2人目の体験談（ワークシート記入）
- 3 両スピーカーに対し、質疑応答
- 4 グループ討議（ワークシート共有）
- 5 全体発表
- 6 両スピーカーからコメント
- 7 佐藤准教授から総括

#### ■ 災害対応体験談 スピーカー予定者

[ ] 内は「令和元年台風19号」当時の所属・職名

##### ◇ 宮城県環境生活部放射性物質汚染廃棄物対策室 室長 伊藤哲也氏

[宮城県総務部危機対策課 課長補佐（総括担当）]

- ・ 県の災害対策本部での体験：情報収集，市町村支援，応援職員対応 等

##### ◇ 宮城県土木部港湾課 総括課長補佐 伊藤力氏

[宮城県土木部防災砂防課 技術補佐（防災企画班 班長）]

- ・ 県の土木部門防災砂防課での体験：復旧復興，国の支援 等

##### ◇ 宮城県大郷町総務課 赤間悠太氏

[大郷町総務課防災対策室 室長補佐]

- ・ 町の災害対策本部での体験：災害警戒本部，災害対策本部，避難勧告・避難指示発令

##### ◇ 宮城県大崎市総務部防災安全課 課長 齋藤健治氏

[大崎市鹿島台総合支所 地域振興課 課長]

- ・ 市の出先機関での体験：消防団との連携，災害廃棄物，ボランティア対応 等

#### 昨年度受講者の声

- ・ 災害を経験した方の実際の現場での状況など，なかなか聞く機会がないので，このような研修はありがたいです。
- ・ 平常時の準備の重要さと，その難しさを実感した研修になりました。今後，関係機関などとの横のつながりをしっかりしていきたい。

### 3 第37回 接遇研修指導者養成研修 <参集型>

多様化、複雑化する住民ニーズに「公務の接遇」を意識し適切に対応することが、行政の信頼を高めることにつながります。若手職員を含めた組織全体でこの接遇の意識を共有し、一体感を持った住民対応を行うには、組織や地域の実情に通じた職員が講師を務める研修が効果的です。

この研修では、現場で起こりうる場面設定による模擬講義演習を通じて、実践的な指導スキルの習得を目指します。「新規採用職員向け研修講師」をはじめ、「窓口等の接遇指導」、「接遇対応マニュアル作成」等に役立つ研修です。

#### [理解・習得のポイント]

- 公務特有の接遇のあり方
- クレーム対応の理解, 対応手法
- 「模擬講義」による講師スキル

実施日

令和5年  
5月31日(水)～6月2日(金)

対象

- 接遇研修の指導職員(予定者)
- 受講を希望する職員

人数

#### 定員20人

※ 受講申込者が14人未満の場合は、実施しない場合があります。

申込

別紙受講申込書を送信ください。  
申込期限：4月28日(金)

費用

宿泊負担金の他に  
テキスト代 7,837円  
(消費税込)

※修了者には、(一財)公務人材開発協会から、接遇講師の認定書が交付されます。

#### 講師

(一財)公務人材開発協会 講師

かね こ きょう こ  
金子 恭子 氏

話し方の講師も務めます。

メリハリのある講義は、受講者を引きつけ、具体的でわかりやすい説明は、日頃の疑問を解決します。



月日	時刻	内 容			
5月31日(水)	13:00	開講式・オリエンテーション	講義演習		
	13:30	第1章 公務における接遇			
	16:55	第2章 マナーとコミュニケーション			
		宿泊オリエンテーション			
6月1日(木)	9:00	マナーとコミュニケーション(続き)		講義演習	
	12:00	第3章 面接対応			
		昼休み			
2日(金)	13:00	面接対応(続き)			講義演習
	16:25	第4章 電話対応			
		昼休み			
2日(金)	9:00	第5章 クレーム対応	講義演習		
	12:00	第6章 よりよい接遇をめざして			
		昼休み			
	13:00	よりよい接遇をめざして(続き)			
	15:50	指導会議		講義演習	
		閉講式			

#### 昨年度受講者の声

- ・基礎から丁寧に教えていただき、大変勉強になりました。受講者同士で話し合うことも、理解を深める手段として、とても良かったと思います。
- ・自分の模擬講義はもちろんですが、他の受講者の指導方法への講師のアドバイスも参考になりました。
- ・講師の言葉、しぐさは当然のことながら、受講者の模擬講義を数多く見ることができ、得るものが多くありました。

## 4 第8回 研修企画者養成研修〈参集型〉

限られた人材で組織成果を向上させるための要素として、職員一人ひとりの能力向上があります。研修担当者には、組織の人材育成計画と組織の研修ニーズをベースに、職種や階層等が異なる多様な職員に適した研修を企画・実施することで職員の能力向上を図ることが期待されます。

自らがカリキュラム作成をすることで、講師に頼りきりにならない、組織に適合した効果的な研修につながっていきます。

近年変化が著しい「研修」について、最新の情報を含む講義と・演習を実施します。

### 〔理解・習得のポイント〕

- 研修企画・立案の基本
- 研修効果を高めるためのカリキュラム

実施日

令和5年  
6月7日(水)～8日(木)

対象

- 職員研修を担当する職員
- 受講を希望する職員

人数

18人程度

申込

別紙受講申込書を送信ください。  
申込期限：4月28日(金)

### 講師

(一社)日本経営協会 講師

ひら い さい こ

平井彩子氏



経済産業省ダイバーシティ普及アンバサダー事業 委員, 中小企業診断士, 基本情報処理技術者

「IT(PC, システム)を活用した業務の改善, 業務フローの再構築」,  
「人事評価システムの構築」の支援などを行っています。

朝日デジタル 「ワーク・ライフ・バランスとは?改めて意味を解説」, 企業実務 「DX時代に必須のリスクリングの進め方」等投稿

月日	時刻	内 容	
6月7日(水)	10:00	開講式・オリエンテーション	
	10:30	1 研修企画・運営者としての役割理解	講義
	12:00		
		昼休み	
	13:00	2 人材育成最前線・最新用語 3 研修の企画と立案の基本	講義
17:00			
	宿泊オリエンテーション	演習	
8日(木)	9:00	4 研修効果を高めるためのカリキュラム作成	講義
	11:30		
		閉講式	

### 昨年度受講者の声

R4年度「研修企画者・講師養成研修」より

- ・研修の意義, 組み立て方等, 今回参加しなければ自分のやり方で終わっていたと思います。一連の流れを学ぶことができ, 本当に良かった。
- ・研修を企画する時の不安を参加者で共有し, それについて講師からアドバイスがあり, 一人だけじゃない安心感を持てた。

## 5 第8回 研修講師養成研修〈参集型〉

職場内研修の講師を務めることになったら、どう準備したらよいでしょうか。この研修では、わかりやすいレッスンプラン・カリキュラム作成のスキル及び講師としての話し方、受講者とのやり取りの仕方等のインストラクションスキルの向上を講義・演習・模擬講義により図ります。

### 〔理解・習得のポイント〕

- レッスンプラン作成
- 「模擬講義」による講師スキル

実施日

令和5年  
6月8日(木)～9日(金)

対象

- 職員研修の指導職員(予定者)
- 受講を希望する職員

人数

18人程度

※ 受講申込者が10人未満の場合は、  
実施しない場合があります。

申込

別紙受講申込書を送信ください。  
申込期限：4月28日(金)

### 講師

(一社)日本経営協会 講師

ひら い さい こ

平井彩子氏



経済産業省ダイバーシティ普及アンバサダー事業 委員, 中小企業診断士, 基本情報処理技術者

「IT(PC, システム)を活用した業務の改善, 業務フローの再構築」,  
「人事評価システムの構築」の支援などを行っています。

主な講義実績

内閣府, 千葉県, 青森県, 福島県, 郡山市, 他多数自治体

大手自動車メーカー, 大手建材メーカー, 中小企業大学校, 中小企業診断士向け理論研修 他

月日	時刻	内 容	
6月8日(木)	13:00	開講式・オリエンテーション	講義 演習
	13:15	1 研修内部講師の役割・必要な能力 2 レッスンプランやカリキュラム構成のコツ 3 インストラクションスキルの向上	
	17:15	4 プレゼンテーションスキルの向上	
		宿泊オリエンテーション	
9日(金)	9:00	5 模擬講義準備 6 模擬講義	講義 演習
	12:00	(ビデオ撮影、視聴、ブラッシュアップ)	
		昼休み	
	13:00 16:00	6 模擬講義(続き)	
		閉講式	

### 昨年度受講者の声

R4年度「研修企画者・講師養成研修」より

・自分の話す姿をビデオで撮り、客観的に見ることができ、参考になった。

・講師のアドバイス、受講者の方のアドバイスが、非常に良かった。

・他の受講者のカリキュラムが参考になった。

・模擬講義演習は、講師以外でも活用ができそう。



## 6 第62回 ポストコロナの観光戦略研修 〈参集型〉

地域経済を活性化する手段の一つとして期待される「ポストコロナの観光戦略」にスポットをあてて実施します。観光の復活には、行政と地域の観光関連事業者等が総力戦で取り組む必要があります。地域の観光関連事業者の現状・課題を理解し、地域を潤す観光振興政策を立案するポイントについて講義・演習を行います。

### 〔理解・習得のポイント〕

- ポストコロナの観光及びその波及効果による地域経済活性化
- DX推進による観光産業の収益力向上、観光サービスの変革を意識した政策立案

実施日

令和5年

6月15日(木)～16日(金)

対象

- 観光政策に興味のある職員
- 受講を希望する職員

人数

30人程度

申込

別紙受講申込書を送信ください。  
申込期限：5月12日(金)

### 講師

近畿大学経営学部 教授  
高橋 一夫 氏



兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学 客員教授  
総務省地域再生マネージャー

JTBにて、イベントコンベンション部長、コミュニケーション事業部長を歴任。

2007年流通科学大学教授、2012年より現職。

観光のビジネスモデルやマーケティングを研究し、経済産業省、観光庁の各種委員、多数の自治体の審議会会長等を務める。

月日	時刻	内 容		
6月 15日 (木)	9:30	開講式・オリエンテーション		
	10:00	1 基調講義「ポストコロナの行政とDMOの観光戦略」	講義	
	12:00	その1 観光は戻ってくるのか その2 行政の役割は観光政策にある		
		昼休み		
	13:00	その3 DMOに求められるデスティネーション・マーケティング		
	14:30	2 事例紹介「豊岡DMOによる観光DXの実践」(予定) ・実践者2人による実践談、パネルディスカッション 元 豊岡DMOの経営企画部長		
17:00	旅館事業者 副支配人			
		宿泊オリエンテーション		
16日 (金)	9:00	3 講義「DMOと観光行政の課題 -A市のDMOを事例として」	講義・ グループ討議	
	12:00	4 グループ討議		
		昼休み		
	13:00	グループ討議(続き)		
	16:00	5 発表・解説		
		閉講式		

※デスティネーション・マーケティング：自治体の地理的範囲を基準とした観光目的地が、旅行者のニーズを見極め、それに答えることで地域経済の活性化をすること。

**7 第22回 JKET (公務員倫理) 指導者養成研修 <参集型>**

公務員には公私を問わず常に高い倫理観を保持することが求められています。職員の不祥事は住民の信頼を損なうばかりでなく、組織を疲弊させることにも繋がります。また、損なわれた信頼を回復するのは容易ではありません。この研修では、公務員倫理の指導者となることが予定される職員に必要とされる知識の理解と技法の習得を図るため、具体的な事例による模擬講義演習を実施します。

[理解・習得のポイント]

- 公務の特性を捉えた公務員倫理
- 望ましい職場風土形成のための「リーダーの役割」
- 「模擬講義」による講師スキル

**実施日** 令和5年  
**6月21日(水)～23日(金)**

**対象**

- JKET研修の指導職員(予定者)
- 受講を希望する職員

**人数** **定員18人**  
※最少実施人数は9人です。  
申込者が9人未満の場合は人事院の規定により実施できませんので、御了承ください。

**申込** 別紙受講申込書を送信ください。  
申込期限：5月19日(金)


**費用** 宿泊負担金の他に  
**テキスト代 5,642円**  
(消費税込)

**昨年度受講者の声**

- ・様々な経験、部署からの受講者がおり、多様な意見を聞いたことが大きい。
- ・公務員倫理の目的がはっきりし、講義をする際の軸とすべきことが明確になった。
- ・非常に実践的で、指導の機会だけでなく、人前で話をするときに重要な点を数多く教えていただいた。

**講師**

(一財)公務人材開発協会 講師  
ふく いずみ ひろし  
**福 泉 裕 氏**



JKET研修の他、接遇研修、JST研修、リーダーシップ研修などの講師を務めている経験豊富な講師です。

※修了者には、人事院からJKET指導者の認定書が交付されます。

月日	時刻	内 容	
6月21日(水)	9:30	開講式・オリエンテーション	
	9:45 12:20	第1章 倫理とは	講義演習
		昼休み	
	13:20 17:25	倫理とは(続き) 第2章 公務員に求められる倫理 第3章 公務員に求められる規律	
		宿泊オリエンテーション	
22日(木)	8:30 11:45	公務員に求められる規律(続き) 第4章 実際の場面で	
		昼休み	
	12:45 17:00	実際の場面で(続き)	
23日(金)	8:30 11:40	実際の場面で(続き)	
		昼休み	
	12:30 16:00	第5章 望ましい職場風土の形成	
		閉講式	



## 〔研修会場・連絡先等〕

### 1 研修会場

公益財団法人 東北自治研修所（東北自治総合研修センター内）

〒981-3341 宮城県富谷市成田二丁目22-1

TEL：022-351-5771 FAX：022-351-5773

（アクセスは、東北自治総合研修センターHPを参照してください。）

### 2 経 費

■ 研修受講料は、**無料**です。（東北6県からの負担金を充てています。）

■ **青葉寮（宿泊施設）利用負担金**

1泊当たり5,470円（夕食、朝食を含む。）（税込）（※R5.4.1変更）

- ・研修終了後に発行する請求書により、貴機関から指定の口座へ振り込み願います。
- ・夕・朝食代の現金別払いを希望する場合は、受講決定後提出の「受講前の報告書」に記載ください。
- ・前・後泊する場合は、4,100円/泊（夕食・朝食無し）を追加し、外泊する場合であっても、負担金は減額いたしません。
- ・前泊して夕・朝食を希望する場合は、「受講前の報告書」で申し込み、現金で支払ってください。

■ **テキスト負担金**

テキスト代(実費)を負担していただく研修もあります。各研修の案内を御覧ください。

### 3 宿泊・食事・受付

■ 受講者は**全員**、東北自治総合研修センター内の寄宿舍「青葉寮」に**宿泊**していただきます。

■ 食事は、センター内食堂を御利用願います。夕・朝食代は宿泊負担金に含みます。昼食は、別途、券売機で食券を購入してください。

■ 開講式の30分前までに、受付で手続きしてください。（時間厳守）

詳細は、受講決定時にお知らせします。

### 4 新型コロナウイルス対策

国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」及び宮城県の対処方針に対応した感染防止対策を行います。詳細は、受講決定時にお知らせします。

### 5 施設の概要

快適な研修生活をお送りいただくために、宿泊室は全室個室となっているほか、以下の施設を備えています。

- 研修棟：講堂1室、教室7室、演習室20室、図書室〔蔵書約6,600冊、パソコン(インターネット接続可)、DVD〕、ラウンジ8室等
- 宿泊棟：宿泊室250室(うち身障者用3室)、娯楽室、談話室、大・中浴場(シャワールームあり)、インターネット接続可(有線LAN)、食堂、売店
- 屋内外施設：体育館(バレーボール・卓球等)、テニスコート、駐車場(270台)

※詳細は、東北自治総合研修センターのホームページをご覧ください。

### 6 連絡先

公益財団法人 東北自治研修所

〔東北6県の自治体職員の資質・能力の向上を図るため、6県の出資により設立された法人です。〕

URL：http://www.thk-jc.or.jp

TEL：022-351-5771

FAX：022-351-5773

担当：阿部幸信、佐藤祐美子

e-mail：kensyu@thk-jc.or.jp